

# 中小企業景況調査報告書【えひめ版】

愛媛県商工会連合会

全国商工会連合会では、四半期毎に景況調査を実施しており、本報告書は県内商工会地域の景気動向を【えひめ版】として作成したものです。

調査対象期間：2020年度第1四半期（2020年4月～6月期）

調査対象企業：150企業 回答企業：150企業

（製造業：30社 建設業：20社 小売業：41社 サービス業：59社）

## DI方式

DIとは、各調査項目について〔増加・上昇・好転〕の割合から〔減少・低下・悪化〕の割合を差し引いた値で〔景気動向指数〕を表しています。

## \*記号とDI値の関係

 快晴 ~30.1	 晴 30.0 ~10.1	 薄曇 10.0 ~▲10.0	 曇 ▲10.1 ~▲30.0	 雨 ▲30.1~
---	--	--	--	---

## 1. 業況判断DIと天気図（2年間の推移）

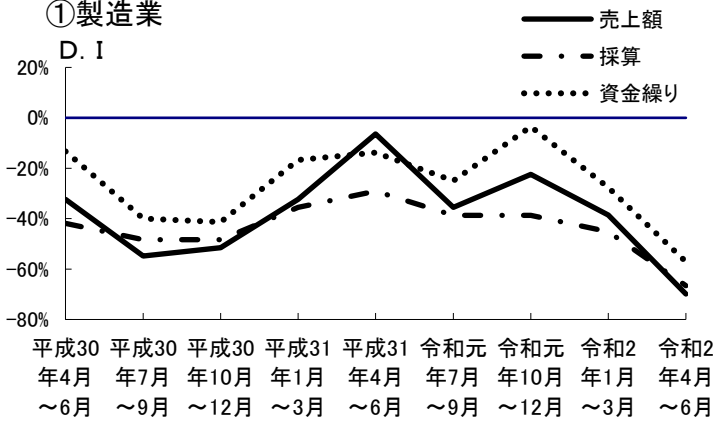
期別	業種別	①製造業		②建設業		③小売業		④サービス業		全体	
	平成30年 4~6月期		▲ 43.3		▲ 15.0		▲ 41.0		▲ 8.4		▲ 26.9
平成30年 7~9月期		▲ 46.7		5.0		▲ 45.0		▲ 16.9		▲ 25.9	
平成30年 10~12月期		▲ 30.0		15.0		▲ 48.6		▲ 16.9		▲ 20.1	
平成31年 1~3月期		▲ 36.7		20.0		▲ 47.5		▲ 28.8		▲ 23.3	
平成31年 4~6月期		▲ 23.4		30.0		▲ 45.0		▲ 12.1		▲ 12.6	
令和元年 7~9月期		▲ 36.7		20.0		▲ 41.0		▲ 15.2		▲ 18.2	
令和元年 10~12月期		▲ 26.7		10.0		▲ 46.2		▲ 25.4		▲ 22.1	
令和2年 1~3月期		▲ 43.3		0.0		▲ 55.0		▲ 23.7		▲ 30.5	
令和2年 4~6月期		▲ 69.0		▲ 25.0		▲ 77.5		▲ 60.3		▲ 58.0	
来期見通し 7~9月期		▲ 69.1		▲ 40.0		▲ 76.9		▲ 53.5		▲ 59.9	

（注1）業況判断DIポイント値は、前年同期と比較して業況が「好転」と答えた企業の割合から「悪化」と答えた企業の割合を引いたもの

（注2）「全体」のポイント値は全業種の単純平均値

## 2.業種別景気動向

### ①製造業



#### <前期比>

売上額 : 大幅悪化 (▲38.6→▲69.9 ポイント)

採算 : 悪化 (▲45.2→▲66.6 ポイント)

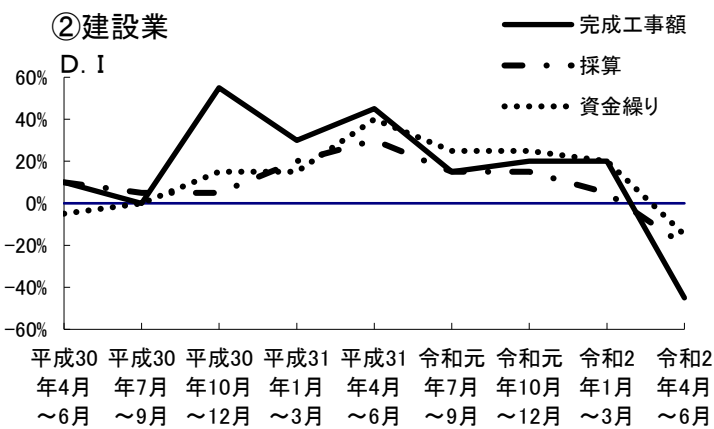
資金繰り : 悪化 (▲27.6→▲57.1 ポイント)

#### <経営上の問題点> (順位と比率)

1位 : 需要の停滞 (28.6%)

2位 : 製品ニーズの変化 (17.9%)

### ②建設業



#### <前期比>

完成工事額 : 大幅悪化 (20.0→▲45.0 ポイント)

採算 : 悪化 (5.0→▲20.0 ポイント)

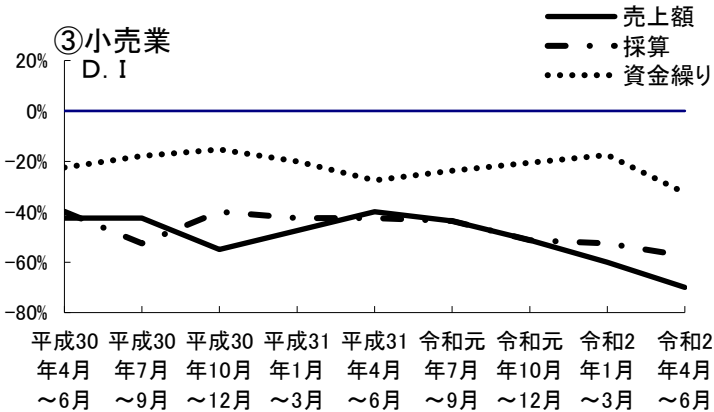
資金繰り : 大幅悪化 (20.0→▲15.0 ポイント)

#### <経営上の問題点> (順位と比率)

1位 : 官公需要の停滞 (29.4%)

2位 : 民間需要の停滞、材料価格の上昇 (17.6%)

### ③小売業



#### <前期比>

売上額 : やや悪化 (▲60.0→▲70.0 ポイント)

採算 : やや悪化 (▲52.5→▲57.5 ポイント)

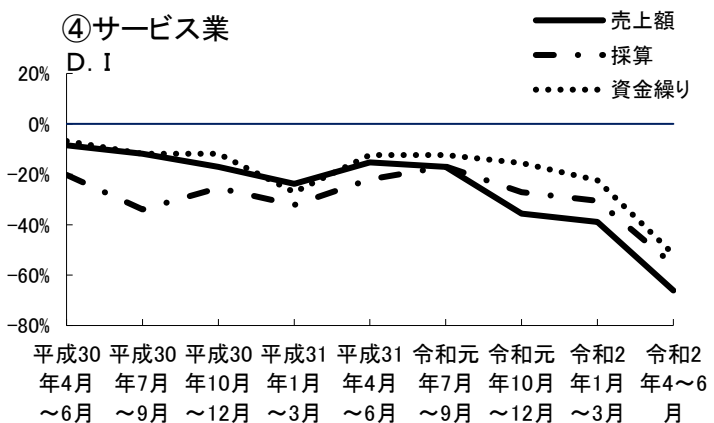
資金繰り : 悪化 (▲17.5→▲32.5 ポイント)

#### <経営上の問題点> (順位と比率)

1位 : 需要の停滞 (21.1%)

2位 : 購買力の他地域への流出 (13.2%)

### ④サービス業



#### <前期比>

売上額 : 悪化 (▲38.9→▲66.1 ポイント)

採算 : 悪化 (▲30.5→▲55.9 ポイント)

資金繰り : 悪化 (▲22.4→▲51.7 ポイント)

#### <経営上の問題点> (順位と比率)

1位 : 需要の停滞 (32.0%)

2位 : 利用者ニーズの変化、利用料金の低下・上昇難、材料等仕入単価の上昇 (8.0%)